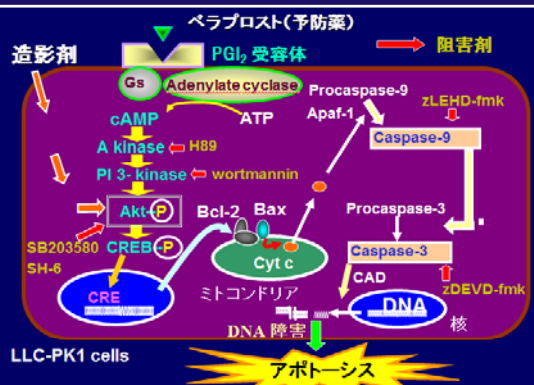


臨床応用薬学講座 一 臨床薬剤学分野

Department of Clinical Pharmacology and Pharmacy

患者さんから学ぶ

～薬学研究の先に待っているのは一人ひとりの患者さん～



造影剤腎症の発現機序

臨床薬剤学教室は、岡山大学病院薬剤部内にあり、常に臨床現場と隣合わせの研究が行われています。この利点を活かし、直接患者さんの治療に活かすことができる研究を中心に行っています。当分野在籍の学生は、患者さんの現状を把握しながらQOL向上に寄与できる医療従事者を目指し研究に邁進しています。

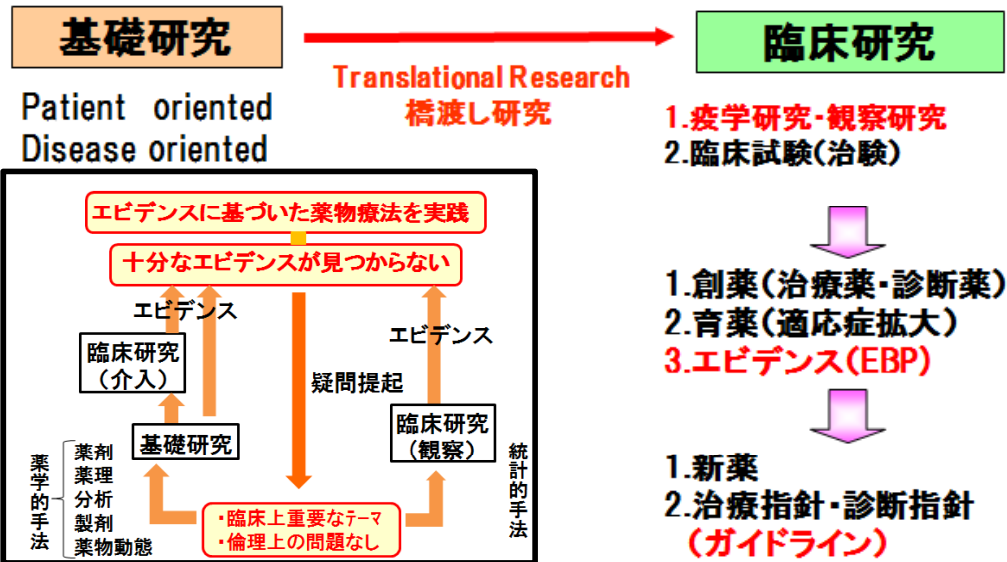
臨床薬剤学では、目前の患者さんの問題点を解決することを目的に、薬学的視点から臨床研究や基礎研究を行っています。我々は、薬物治療における安全性の確保、治療効果の向上ならびに患者満足度の向上に貢献できるエビデンスの構築を目指しています (Evidenced Based Pharmacy)。また、研究マインドを持った薬剤師育成に取り組んでいます。もちろん、他学部出身者の受け入れも行い、医療に貢献できる人材を育成しています。さらに、基礎研究と臨床研究を繋ぐ架け橋研究(トランスレーショナルリサーチ)の重要性が注目されており、薬学の視点から創薬支援、医薬品の適正使用、個別化医療の発展に寄与したいと考えています。

支障をきたしたのを皮切りに、四川省を含め
社内 2社
国内 岡山大学健康影響なし
点滴液に化合物混入
岡山大学病院薬剤部の影響が出る程度ではな
千堂 祥昭教授と河崎 聡一 のもの、製薬会社
一助 教授のグループは「改善を求めたところ
15日、国内の製薬会社「すぐに対応した」と
2社が販売している」と返答があったとい
プラスチェック製容器
入りの点滴液などに、河崎 教授らによる
ごく微量の一重合開始剤、重合開始剤はプラ
剤一が混入してたとスチックの製造時など
発表し、グループに用いる化合物、原料
とまると「直ちに健康にや印刷シクにも使わ



うつ病・不安神経症・不眠症・依存・意欲の脳内機構および治療薬の開発について研究しています

ブレインサイエンス (未知な世界)
意欲低下改善薬の探索



連絡先/岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 臨床薬剤学 (千堂 年昭)
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
tel. 086-235-7640 fax.086-235-7794
E-mail: sendou@md.okayama-u.ac.jp URL: <http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/rinzai/>